

平成25年行政事業レビューシート

事業名	肝炎ウイルス検査等事業費 (肝炎患者の重症化予防推進事業)		担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	疾病対策課肝炎対策推進室	肝炎対策推進室 井上 肇			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	肝炎対策基本法 第12条		関係する計画、通知等	「特定感染症検査等事業について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>肝炎は、国内に感染者が三百万人以上いると推定される我が国で最大級の感染症であり、肝硬変・肝がんへと重症化する疾患であることから、早期発見・早期治療が重要となっている。</p> <p>しかし、調査研究によれば、国民の1/2がまだ肝炎ウイルス検査を受けておらず、陽性者の1/3が医療機関を受診していない。また、初診時、半数以上の者がすでに慢性肝炎以上の進行を認めている。</p> <p>日本再興戦略では、国民の健康寿命を延伸に関連して、「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりを進める」とこととされている。</p> <p>そのため、肝炎対策についても、既存の検査事業の拡充・改変を行い、肝炎患者の早期発見・早期治療を一層推進し、肝炎患者の重症化予防・健康寿命の延伸を図るための取組を進めることとする。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>保健所等(出張による実施を含む)で行うHBs抗原検査、HCV抗体検査及び肝炎ウイルスに関する相談事業及び陽性者のフォローアップ事業に対して補助をするものである。</p> <p>補助率:都道府県、保健所設置市、特別区 1/2</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	1,720	1,653	1,653	953	1,822	
		補正予算						
		繰越し等						
	計		1,720	1,653	1,653	953	1,822	
	執行額		1,208	1,022	960			
執行率(%)		70%	62%	58%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	肝炎対策基本指針に基づき、肝炎患者の早期発見・早期治療を一層推進し、肝炎患者の重症化予防・健康寿命の延伸を図る。		成果実績	%	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	肝炎ウイルス検査件数(B型)		活動実績 (当初見込み)	件	280,846 (-)	281,780 (-)	集計中 (-)	- (-)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	肝炎ウイルス検査件数(C型)		活動実績 (当初見込み)	件	277,343 (-)	265,020 (-)	集計中 (-)	- (-)
単位当たりコスト	7百万円/都道府県等		算出根拠	7百万円=960百万円/138都道府県等				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	検査事業費	786	970	対象者数の見直し等による増				
	相談事業費	167	200	対象者数の見直し等による増				
	フォローアップ事業	-	652	新規メニュー追加による増				
				「新しい日本のための優先課題推進枠」1,822				
	計	953	1,822					

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	肝炎ウイルス感染の有無を知ることは、早期治療による発症予防及び感染の拡大防止の観点から極めて重要なものであり、検査事業に対する国民のニーズは高い。また、本事業が着実に実施されるためには、国からの補助が必要不可欠である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業が着実に実施されるためには、国からの補助が必要不可欠である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	保健所や委託医療機関等において、受診者の利便性に配慮した肝炎ウイルス検査を実施することにより、早期治療による発症予防及び感染の拡大防止を図るものであり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	原則無料で匿名の検査・相談を実施することにより、受益者(検査希望者)の検査受検及び相談が促進され、感染の早期発見・早期治療、感染拡大の防止が図られるものであり、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	必要最低限の経費のみ計上しており、コストの水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	検査キットや医療器具等の消耗品費や、医師・看護師等の人件費等、検査・相談を実施するために真に必要な費目を補助対象経費としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	肝炎ウイルス検査の認知度の低さ等により受検者数が想定数に達しないためである。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	個人情報漏洩の心配のない原則無料・匿名による検査を実施することにより肝炎ウイルス検査・相談を促進し、早期治療による発症予防及び感染の拡大防止を図るものであり、効果的な手段・方法で事業が実施できていると考える。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	当該事業については、平成24年度は執行率58%という状況であり、執行状況等を踏まえ、平成25年度予算においては、対前年度58%(▲700,135千円)の規模に縮減を図ったところ。 肝炎対策基本指針では、国民全員が一回は肝炎ウイルス検査を受けることができるよう取り組むこととされていることから、当該事業の一層の周知を図り、一人でも多くの国民が肝炎ウイルス検査を受けられるよう、引き続き取組を実施する。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	B型肝炎ウイルス及びC型肝炎ウイルスの感染予防・まん延防止を図るための事業であるが、事業の必要性や執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	248	平成23年	113	平成24年	89

厚生労働省 1,022百万円
※平成23年度実績

〔各自治体から申請のあった事業内容を精査の上、国庫補助金を交付〕

【補助】

A 都道府県等(138) 1,022百万円

〔保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。〕

【委託】札幌市の例

B 医療機関等(3箇所) 190百万円

※肝炎ウイルス検査の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.札幌市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	一般社団法人 札幌市医師会等 医療機関検査委託	190			
計		190	計		0
B.一般社団法人 札幌市医師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
需用費	医薬材料費	180			
計		180	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	札幌市	委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	190		
2	さいたま市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	73		
3	大阪府	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	70		
4	広島市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	40		
5	横浜市	委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	38		
6	川崎市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	33		
7	名古屋市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	31		
8	堺市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	29		
9	佐賀県	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	27		
10	福岡市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	27		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 札幌市医師会	無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	180	随意契約	
2	公益財団法人 北海道結核予防会	無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	9	随意契約	
3	一般財団法人 札幌スポーツ財団	無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					